

光学医療診療部

1 構 成 員

	平成19年3月31日現在
教授	1人
助教授	0人
講師（うち病院籍）	1人（1人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	1人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	3人

2 教員の異動状況

今野 弘之（教授）（H18年2月1日～現職）

田中 達郎（講師）（平成18年3月1日～現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成18年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	3編（0編）
そのインパクトファクターの合計	11.53
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0編（0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. Kikuchi H, Yamashita K, Kawabata T, Yamamoto M, Hiramatsu Y, Kondo K, Baba M, Ohta M, Kamiya K, Tanaka T, Suzuki S, Kitagawa K, Kitagawa M, Sugimura H, Konno H: Immu-

nohistochemical and genetic features of gastric and metastatic liver gastrointestinal stromal tumors: Sequential analyses. *Cancer Sci* 97: 127-132, 2006.

2. Hanai H, Iida T, Yamada M, Sato Y, Takeuchi K, Tanaka T, Kondo K, Kikuyama M, Maruyama Y, Matsushita I, Iwaoka Y, Nakamura A, Hirayama K, Saniabadi AR, Watanabe F. Effect of adacolumn selective leukocytapheresis on plasma cytokines during active disease in patients with active ulcerative colitis. *World J Gastroenterol* 12: 3393-3399, 2006.
3. Gao Y, Kitagawa K, Hiramatsu Y, Kikuchi H, Isobe T, Shimada M, Uchida C, Hattori T, Oda T, Nakayama K, Nakayama KI, Tanaka T, Konno H, Kitagawa M.: Up-regulation of GPR48 Induced by Down-regulation of p27^{Kip1} Enhanced Carcinoma Cell Invasiveness and Metastasis. *Cancer Res* 66: 11623-31, 2006.

インパクトファクターの小計 [11.53]

4 特許等の出願状況

	平成18年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

	平成18年度
(1) 文部科学省科学研究費	1件 (100万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	3件 (250万円)

(1) 文部科学省科学研究費

田中達郎 基盤研究 (C) 5- ALAによる消化器癌に対する光線力学的治療と転移診断の検討
100万円

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	1件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	3件
(6) 一般演題発表数	0件	

(2) 国内学会の開催・参加

3) シンポジウム発表

田中達郎, 近藤賢司, 今野弘之, 花井洋行: 消化器悪性腫瘍に対する光線力学治療の現況と展望. 第27回日本レーザー医学会総会 2006. 11. 2. 千葉, 幕張.

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

今野弘之 日本胃癌学会理事

今野弘之 日本消化器内視鏡学会評議員

田中達郎 日本消化器内視鏡学会評議員・消毒委員会委員

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリー数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成18年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成18年度
産学共同研究	0件

12 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

1. 新規光線力学療法（PDT）の開発

新規光増感剤を用いた消化器癌に対するPDTの基礎研究を進め, in vivoでのヒト胃がんに対する新規光増感剤の抗腫瘍効果を確認した。

14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

1. 消化器癌に広く適応拡大を目指すPDT研究は世界的に見ても稀である。臨床でも全消化管に対してPDTを行っているのは当施設のみである。